

見坂茂範 参議院議員のご講演

日時 令和8年2月16日(月) 11:30~11:55

場所 グランドアーク半蔵門 3階 華(総会会場)

配布資料 けんざか茂範国政レポート (VLO.2/2025.12)

ご講演要旨

皆様の多大なご支援により参議院議員選挙に当選しましたが、職域代表が一人の為選挙活動中よりも更に多忙となりました。参院選惨敗で参議院の自民党議員が少なく、国会内では沢山の部会、議連等の職務が与えられ、道路、河川の両方の立場での役割が回ってきます。昨年秋以降10~12月は土日も休みなしです。全国から道路、河川のイベントへの出席依頼が来て、重なることも多く祝電等で済ませることも増え、道路関係、近畿関係優先と言われ、辛い面があります。

1月23日の衆議院解散では、公示前から選挙応援の依頼が多く難しい選挙戦へ呼ばれました。でも、頼りにされるのは、自民党内3位(バックに票の多さ)、建設業界の底力であり、皆様の評価が追い風になっていると思います。

政策面では、財政調査会において住宅ローン減税の延長、トラック課税、不動産税負担の軽減等について発言を求められました。部会での発言は一回限りですので、持論を展開し、わかりやすい説明に力を入れ、財務省本位ではなくユーザーの立場から話をしました。

令和7年の補正予算2兆円は、平成13年の国交省発足以来最大となりました。公共事業予算6.2兆円で横ばいですが、政権を取り戻して10数年毎年20億円増でしたが、今回220億円の大幅増となりました。物価高騰の折、工事単価3%UPとしても6兆円だと1,800億円ですから最低1千億円ほしいところです。今後は、今年6月の骨太方針での予算増が大事になります。

建設コンサルタント業界は、最近2~3年発注件数が減って、技術者単価がUPしても発注総額が減っており、これを増やしていくこと、これが私の役割だと思っています。さらに補正ではなく当初予算に国土強靱化予算を盛り込んで計画的に実施すべきです。業界代表として私が主張する立場にあります。最近高市首相も「補正の当初予算化」を発言されています。

近々技術者単価が発表されますが、私が技術調査課長時代に5%以上上げて無理をしてきたのでペースが落ちるかもしれません。今後は発注の件数、量を増やして、令和8年の予算の増、骨太方針での強靱化予算の増、ひいては令和9年度予算増へ結び付けていくことが大事です。

これからも、職域代表として建設コンサルタント業界の為に汗をかいていきますので、ご支援のほどよろしく申し上げます。